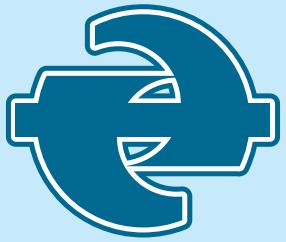


平成22年度 予算のあらまし

まちの 羅金盤



精華町の財政状況公表資料
(予算編)

ふるさとは
ここ精華町
と誇れるまち

もくじ

今年の予算Q & A	1
平成22年度に予定される主な事業	5
町民一人あたりでみる今年の予算	15
財政の用語解説	20
精華町の財政健全化計画	21

今年の予算Q&A



基礎知識篇 「基本的なギモンだけど…。」

Q 精華町の予算ってどのくらいあるの？………

A 平成22年度の精華町の予算は、一般会計では126億3千万円、上下水道や国民健康保険などの特定の事業を行う9つある特別会計を合わせた町全体の予算総額は214億7,375万円です。

平成21年度の予算では累積債務の繰上償還や里山保全モデル事業の用地買戻しなど、行財政改革に主眼を置いた予算となっていましたが、今年度予算では少しでも改革の成果を住民のみなさまにお返しする予算の第一歩として編成をしました。

前年度と比較すると、一般会計では前年度の132億6千万円に対して6億3千万円の減少（4.8%減）となり、特別会計を含めた予算総額では前年度217億357万円と比較して2億2,982万円の減少（1.1%減）となりました。

前年度からの増減の要因としては、一般会計では国における子ども手当の創設（8億5,300万円）や子育て支援医療費助成事業の拡充による小学生の通院医療費の無料化（3,100万円）、ほうその保育所とほうその第2保育所の統合保育所の新設（子育て支援施設等整備事業）（5億2,700万円）、狛田駅東地区の特定土地区画整理事業の推進（3億4,600万円）、木造住宅の耐震改修経費の一部助成（180万円）、精華西中学校の校舎増築（1億4,700万円）などが主な増加要因であり、里山保全モデル事業用地関連事業の完了（平成21年度予算：8億2,800万円）、川西小学校校舎改築等事業の完了（平成21年度予算：8億6,900万円）などが主な減少要因となっています。

一方、特別会計では、介護保険事業で給付費用が増加していることにより会計予算が増額となり、水道事業でも北稻配水池の築造工事に着手することから大きく増加していますが、公共下水道事業では建設事業費が減少したことなどにより会計予算が減少し、老人保健事業でも後期高齢者医療制度に伴う実質的な事業廃止（平成22年度までの精算期間あり）による減少が大きくなっています。特別会計予算全体では前年度と比較すると、4.7%の増加となっています。

一般会計及び特別会計の予算規模（当初予算）

単位：万円、%
▲はマイナス

会計名称	22年度	21年度	増減	増減率
一般会計	1,263,000	1,326,000	▲ 63,000	▲ 4.8
特別会計	老人保健事業特別会計	196	3,969	▲ 3,773
	国民健康保険事業特別会計	274,926	270,786	4,140
	後期高齢者医療特別会計	26,669	24,930	1,739
	介護保険事業特別会計	165,164	156,774	8,390
	介護サービス事業特別会計	2,832	3,751	▲ 919
	簡易水道事業特別会計	1,206	1,333	▲ 127
	公共下水道事業特別会計	183,755	215,113	▲ 31,358
	国民健康保険病院事業特別会計	17,090	14,075	3,015
	水道事業特別会計	212,537	153,626	58,911
	小計	884,375	844,357	40,018
総計	2,147,375	2,170,357	▲ 22,982	▲ 1.1

平成22年度に予定される主要な事業

町民一人あたりでみる今年の予算

財政の用語解説

財政健全化計画
精華町の

Q そもそも「予算」って何なの？·····

A 1年間（4月1日から翌年3月31日まで）の収入と支出の見積りです。

新しい年度が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額を見積もって事業内容などを計画します。この見積りが「予算」です。町の収入の多くは町民のみなさまからの税金であり、予算とはそれらの税金のつかいみちを示したものといえます。

Q 予算って、どうやって決めているの？·····

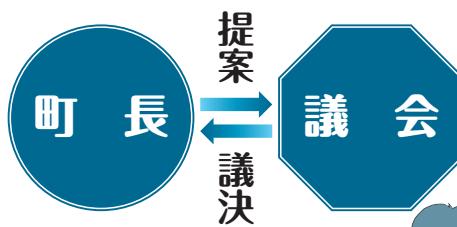
A 町長が予算案をつくり、議会の審議を経て決まります。

まず、様々な行政サービスを受け持つ役場の各部が、その年の予算を作るにあたっての方針、関係する法律や条例、規則、そして各種の計画や住民ニーズなどに基づき、翌年度に行う事業の内容を検討します。

町長は、精華町第4次総合計画などの町の計画をもとに政策的に判断し、各部署で検討された案に新たな事業を加えたり、内容を見直す一方で、財源の確保も工夫しながら、最終的な予算案をまとめ、町議会に提案します。

町議会では提案された予算案について、住民の代表である町議会議員により様々な視点から審議が行われます。その結果、予算案が議決されることによって予算が決定されることになります。

予算編成の流れについてのイメージ



Q 一度決めた予算は、ずっと変わらないの？·····

A 当初の予算で見込んでいなかったことが起こった場合は、年度の途中で予算を変更できます。

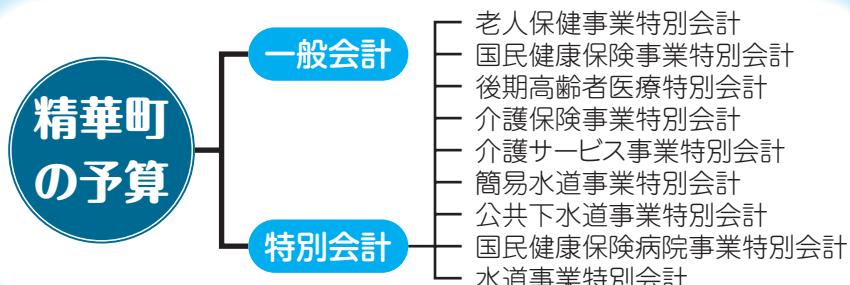
1年の途中で、予定していなかったことが起こって、支出額や収入額を変更しなければならないこともあります。当初の予算で見込んでいなかったことが起こった場合には「補正予算」を作って、当初の予算を変更します。

もちろん、予算を変更する場合には、きちんとした理由説明が必要で、当初予算と同様に町議会での議決を経て補正予算を決定します。

Q 予算って、ひとつじゃないみたいだけど…？·····

A 大きく分けると、一般会計と特別会計があります。

自治体では一般会計が行政活動に必要な経費や収入の中心となっています。しかし、特定の事業を行う場合や、特定の収入を特定の支出にあてるため、一般会計と区分したほうが効率的な予算管理ができるものがあります。この場合には、法律や条例などに基づいて「特別会計」を設けることができ、精華町では下記のような9つの特別会計を置いています。



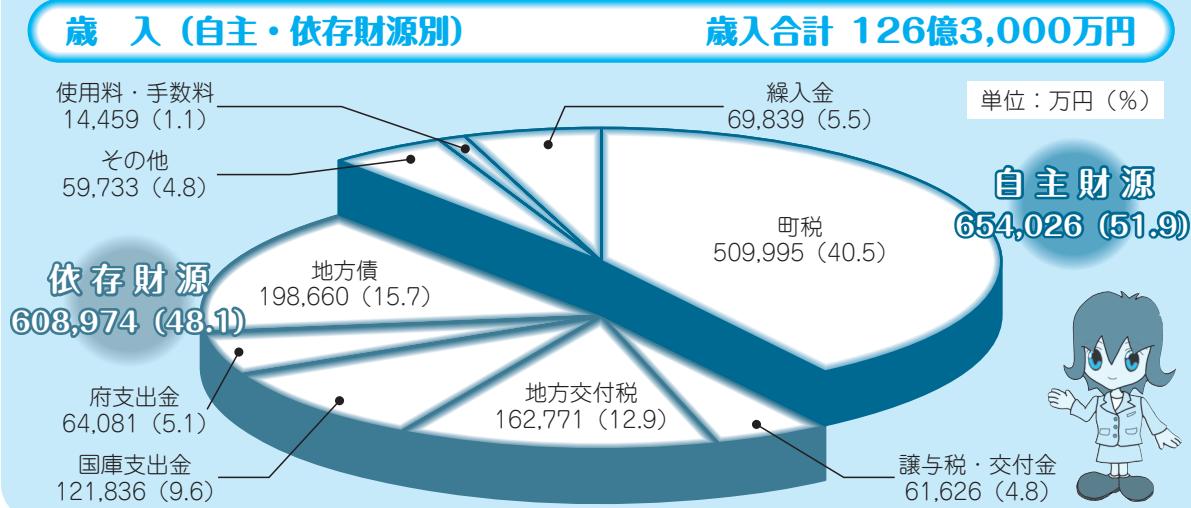
一般会計(収入)篇

「まず、一般会計の収入を見てみよう。」

① 精華町の収入って、どんなものがあるの？·····

A 一般会計の歳入(収入)は大きく分けると、町の権限で収入することができる自主財源と、国や京都府を通じて一定の基準や割り当てにより配分される収入である依存財源があります。

自主財源には、町民のみなさまから納付いただいた町税が大きな割合を占めており、その他に基金(貯金)の取り崩しによる繰入金、施設利用時の使用料や各種証明書発行の際の手数料などがあります。一方、依存財源には地方交付税、譲与税や各種交付金、国・府支出金、そして地方債(借金)があります。



① 町税には、どんな種類があるの？·····

A 町税には課税の方法や対象により種類があります。

収入の状況に応じて町民が負担する町民税、法人事業者が利益などに応じて負担する法人町民税、土地や家屋などの評価額に応じて所有者が負担する固定資産税や都市計画税などがあります。



豆知識

●都市計画税のつかいみち●

都市計画税は快適で住みよいまちづくりのために、都市計画事業や土地区画整理事業を行う費用の一部にあてるための目的税として課税される税金です。

都市計画税は、都市計画道路などの交通施設、下水道、公園といった都市施設の整備を推進するうえで重要な財源となっています。

平成22年度の都市計画税は、こんな事業に使う予定です。

単位: 万円

事業名	22事業費	22充当予定額
柏田駅東特定土地区画整理事業	34,641	480
都市計画事業充当地方債償還金	28,211	28,211
公共下水道事業(一般会計からの繰出金)	66,538	8,105
合計	129,390	36,796

今年の予算Q&A

平成22年度に予定される主要な事業

町民一人あたりでみる今年の予算

財政の用語解説

精華町の健全化計画

一般会計(支出)篇

「次は支出を見てみよう。どんなことに使われているのかな?」

Q 今年の収入は、どんなことに使われるのかな? ······

A 今年の予算を目的別に分類すると、下記のような内訳になります。

Q いろいろな行政活動をしていくためには、どんな経費が必要なの? ······

A 今年の予算を経費の性質別に分類すると、下記のような内訳になります。

目的別分類

単位: 万円 (%)

歳出合計 126億3,000万円

議会費
12,407 (1.0)



総務費
126,319 (10.0)

民生費
399,234 (31.6)



農林水産業費
8,122 (0.6)

衛生費
89,014 (7.0)

商工費
9,737 (0.8)

土木費
193,027 (15.3)

消防費
44,362 (3.5)

教育費
139,660 (11.1)

災害復旧費
30 (0.0)

公債費
239,088 (18.9)

諸支出金
0 (0.0)

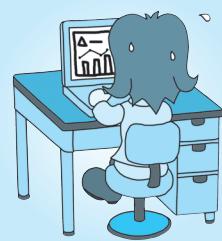
その他の
117,751 (9.2)

予備費
2,000 (0.2)

性質別分類

単位: 万円 (%)

人件費
231,905 (18.4)



物件費
207,726 (16.4)

扶助費
152,721 (12.1)

補助費等
108,129 (8.6)

維持補修費
4,639 (0.4)

補助事業費
47,464 (3.8)

単独事業費
151,547 (12.0)

普通建設事業費
199,011 (15.8)

災害復旧事業費
30 (0.0)



予備費
2,000 (0.2)

平成22年度に予定される主な事業

① 地域に誇りの持てるまちづくり

★ 国際化の推進 (268万3千円)

関西文化学術研究都市にふさわしい国際化に対応したまちづくりを進めるため、ノーマン市との姉妹都市関係を軸とした住民レベルでの交流促進を図り、国際理解講座・ホームステイなどの事業実施に対する負担や、住民の海外体験助成・国際化プラン推進団体への助成を行うほか、英語生活情報紙「いちご」の発行や、国のJETプログラムによる国際交流員の活動などの各種の事業展開により、住民の国際交流や外国人にとって住みやすい環境整備を推進します。



国際化の推進

★ 文化振興の推進 (116万円)

文化芸術の振興によるまちの活性化を目的に、本町の特色ある文化の振興を図るため、舞台芸術を中心とする学研都市地域あげての文化振興の先導的で広域的な取り組みとして「けいはんなふれあいコンサート」を府立けいはんなホールにおいて開催するとともに、役場庁舎交流ホールのパイオルガンを活用した「精華町交流ホールコンサート」を開催するなどの文化振興を推進します。



けいはんなふれあいコンサート

★ せいか祭りの開催 (700万円)

住民の交流と地域の活性化を図るため、「せいか祭り」を開催し、地域や各種団体、世代間の交流を促し、まちの賑わいを創出します。



せいか祭り

★ 国民文化祭プレイベントの実施 (339万7千円)

(新) 平成23年度に開催が予定されている国民文化祭（「第26回国民文化祭・京都2011」）のプレイベントを実施します。

★ 男女共同参画社会の実現

(124万6千円)

精華町男女共同参画推進委員会を開催し、「精華町男女共同参画計画」推進に関する検討・協議を行うほか、女性リーダーの人材育成のため、「京都府女性の船」事業への参加に対する助成も行います。「精華町男女共同参画計画」の具体的な実践として、総合的な相談・支援体制の充実を図るため、家庭支援総合相談事業（家庭こころの相談室）を実施します。

★ 郷土の歴史の伝承と普及

(1,510万7千円)

町内にある指定文化財や、収集した古文書・歴史資料、民俗文化財、埋蔵文化財などの文化財の保存と活用を図るとともに、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内での開発に対して発掘調査を実施するなど、保護のための措置を講じます。



いごもり祭り

★ 集会所の建設

(4,000万円)

地域のコミュニティ活動の拠点整備として、老朽化している（新）北ノ堂集会所の改築工事を実施します。

② 環境共生のまちづくり

★ 快適環境の保全、循環型社会の実現

(1,797万6千円)

住みよいきれいなまちの整備をめざす取り組みの一環として、クリーンリサイクル運動の実施により環境美化の啓発に努めるほか、ごみの適正な排出・分別収集による減量やリサイクルについても、住民意識の高揚を図る取り組みを継続するとともに、河川の水質検査などの体制も強化し、安全・快適な環境づくりを推進します。

地球規模での環境問題にも着目しながら、本町においても家庭用生ゴミ自家処理容器購入などに対する助成制度のほか、学研地区の研究施設などに対する環境保全協定に基づく審査業務の実施や精華町環境ネットワークとの連携などを通じて、循環型社会に向けた独自の環境対策を進めます。

また、住民と行政の協働による環境保全活動やリサイクル活動を推進するための経費を計上しています。

★ 里山保全モデルづくりの推進

(12万円)

人と自然との共生をめざすまちづくりを展開するため、広く地域や住民に親しまれ、子どもたちが自然の恵みや自然の姿をかたちを体感できる憩いの場となる里山保全、森林整備活動を継続的に維持する取り組みを進めます。

★ 情報化への対応

(1億5,116万5千円)

精華町情報化基本計画については、(新) 平成24年度までの計画期間における進捗状況などを中間総括するとともに、現行計画に基づき、「人とひと、人とまちを情報の輪で支えあう豊かなまち」づくりを進めます。

特に、将来に向けて安定した効率的な行政サービスの運用のため、住民窓口サービスを支援する基盤システムなどの制度改正への対応や情報基盤設備の保守など維持管理に努めます。

さらに、ＩＴサポーター登録制度を活用し、交流スペースでのパソコン基礎相談窓口の充実に加え、各地域へ出向いた相談窓口を充実させるなど住民が利用しやすい機会を提供するとともに、町が実施する各種の住民向けＩＣＴ事業の運営補助、団塊の世代や主婦層などの人材の掘り起こしや育成を進め、住民の情報リテラシー（情報処理能力）のより一層の向上を図るほか、情報発信基地としての機能を高め、地域の活性化にも役立てます。

★ 農業基盤の整備

(490万円)

地元区、水利組合及び川西土地改良区などが行う土地改良施設の維持修繕や改良工事に対して補助を行います。また、農道や農業用水路などにおける国費・府費認定外の災害発生時に、復旧工事や資材購入に対しての補助を行います。

★ 農業農村活性化の推進

(1,615万7千円)

町農業委員会を中心として、生産性と効率性を高めた農業の確立や農地の利用調整活動、また、地元農産物を使った特産品の開発、担い手の確保、育成などの事業推進により、都市と農村の共生のまちづくりを展開します。

また、農業活性化に向けた活動の拠点となる地域資源総合管理センター「華工房」において、地元農産物を加工した特産品の開発や販路の拡大などに努め農業振興に取り組みます。



精華町の特産品のいちご

★ 都市基盤の整備

まちづくりの根幹となる各都市基盤施設などの整備を進め、学研都市にふさわしい生活基盤づくりを進めます。

① 道 路

(2億3,660万円)

道路では、周辺住民の生活の利便性向上や歩行者の安全を確保するため、歩道整備を行う菅井・菱田線や、鉄道事業者の協力を求め、鉄道踏切周辺の歩道整備を行うことにより、歩行者の安全対策と利便性を高めるための南・中学校線の鉄道部分（JR）の工事委託、府事業の煤谷川改修に伴う「川原橋」の架け替え工事の京都府への委託など引き続き道路整備を行います。

(新) また、狛田駅東特定土地区画整理事業に伴い、狛田駅周辺の歩行者等が安全に通行できる機能の確保するための僧坊・前川線の整備を進めます。

公共下水道の整備と併せた道路整備など、各地域での生活道路の改良も順次進め、くらしに根ざした視点での基盤整備を推進します。

今年の予算Q&A

平成22年度に予定される主要な事業

町民一人あたりでみる今年の予算

財政の用語解説

財政健全化計画
精華町の

② 河 川

(2億6,900万円)

河川では、町事業として実施している煤谷川の準用河川部分（光台地区北端部分）の改修を継続し、流下能力を高め、治水対策としての河川改修整備を進めます。

③ 狛田駅東特定土地区画整理事業

(3億4,641万3千円)

町北部地域の玄関口としてふさわしい、狛田駅へのアクセス道路と交通駅前広場、周辺地区の整備を行い居住環境の利便性を高めるため、引き続き特定土地区画整理事業を推進します。

★ 上水道・下水道事業

① 上水道事業の推進

(水道事業特別会計 21億2,536万5千円)

良質で安全な上水道の安定した供給をめざし、水道施設の維持管理の徹底と、公共下水道整備と併せた老朽配水管（石綿管更新等）の布設替え工事や開発関連地区の配水管布設工事などの基盤整備を進めます。平成22年度は、（新）北稻配水池の築造工事に着手します。

② 下水道事業の推進

(下水道事業特別会計 18億3,755万4千円)

京都府の木津川上流浄化センターの供用開始（平成11年度）を契機として、木津川上流流域下水道事業（府施工）や、流域関連精華町公共下水道事業計画（町施工）に基づく幹線管渠の整備や面的整備を進め、健康で快適な生活環境の確保と、公共用水域の水質保全のために、都市としての重要な生活環境基盤である下水道整備を、引き続き推進します。

また、水洗化率の向上をめざし、下水道事業への理解を求める啓発活動などにも引き続き取り組みます。

★ 交通安全対策の推進

(2,420万7千円)

子どもや高齢者など歩行者の安全を確保し、交通安全対策に目を向けたまちづくりを進めるため、交通安全灯、カーブミラー、通学路標識などの交通安全施設整備と、運転手のマナー向上のための取り組みを推進します。

また、児童の通学路安全対策として、引き続き交通指導員を配置します。

★ 防災対策の推進・消防活動の充実

(4億4,362万円)

防災対策の推進や警防・救急・予防の各種消防活動の取り組みにより、「安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくり」を進めます。

各自治会や自主防災組織等を中心とした、住民一人ひとりの防災能力の向上を図るとともに、住民を災害から守り、日常的な備えのため、防災訓練を実施し、防災意識の啓発に努めます。

将来に予測される大規模地震時における人的・物的被害を最小限にとどめるため、町内の建築物の耐震化を推し進めるため、（新）京都府の補助制度を活用しながら、木造住宅の耐震改修工事を実施する方に対して、工事費用の一部を助成します。

特に、いつ発生するか予測できない自然災害対策での緊急用備蓄物資の継続的な整備に加え、精華町地域防災計画に基づき（新）防災マップを作成します。

消防活動においては、災害現場や火災現場での救助活動に必要な各種の救助資器材などを補充するとともに、自治会組織との連携強化を図ります。



消防団の水防訓練

③ 子どもを育むまちづくり

★ 子育て支援の充実

(9億7,540万6千円)

「子どもを守る町」精華町として、子育てにかかる経済的負担の軽減のため、就学前医療費助成制度を（拡）小学生の通院医療費の無料化へと拡充し、未来を支える子どもたちの育成の支援をさらに充実します。

また、子育て支援センターを中心に、町内3箇所の子育てサポートセンター及びつどいの広場とも連携し、更なる充実を図り、町独自の各種子育て支援サービス事業の実施や地域の子育て支援に関する情報提供を行うとともに、ボランティアによる「子育てサポート」の育成を図ります。

子育て家庭に対しては、育児支援を行い、町内で安心して子育てのできる環境を向上させることで、子どもを守り、育てるまちを目指して、少子化に対する積極的な取り組みを進めます。

病気等の回復期で集団保育や家庭での保育が困難な場合においては、児童を適切な処遇が確保されている専用施設等で一時的に預かる事業として、病後児保育を実施します。

また、0歳から3歳の乳幼児をもつ親とその子どもを対象とした子育て親子の交流や、集いの場の提供、子育てに関する相談・援助に関する事業の充実を図ります。

さらに、国による（新）子ども手当創設にも対応し、本町の施策とあわせて子育て世代の支援の充実を図ります。

★ 児童福祉の充実

(14億771万3千円)

児童に対するきめ細やかな事業で、子どもたちにとって住みよい快適な環境づくりを進めます。

子育てと仕事の両立支援をより一層推進し、乳幼児の健全育成を図るために町立5保育所の運営を行います。（新）ほうその保育所とほうその第2保育所の統合保育所を建設します。

また、多様な保育ニーズに対応して、町内5小学校区に設置している放課後児童クラブ（学童保育）を運営するとともに、（新）精華台小学校区と東光小学校区の放課後児童クラブをそれぞれかしのき苑、光台近隣センターにて民間運営し、幅広い保育ニーズに対応していきます。また、障害児の受け入れや、高齢者と児童の世代間交流事業を実施するなど、児童の健全育成を推進します。

安全で安心な子どもの居場所を確保するため、放課後や週末等に、地域の方々の参画を得ながら、勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動など、（拡）精華まなび体験教室の取り組みを主に学校の敷地内において進めます。平成22年度は、精北小学校、川西小学校、精華台小学校で実施します。

★ 母子保健の充実

(4,462万4千円)

妊娠期から幼児期における期間の母子の健康保持と子育てに関する知識の普及を図るために、健診事業及び育児指導などの各種教室事業を引き続き推進します。

また、妊婦が安心して出産ができるように、健康管理の充実を目的として妊婦健診への公費負担（14回）を継続します。

★ 学校教育の振興

(2億6,147万2千円)

すべての児童・生徒が、心豊かに楽しく健康に学校生活を送れるよう、修学旅行や芸術鑑賞などへの助成をはじめ、学校教材の整備を図ります。

また、特色ある事業として実施している、府立けいはんなホールでの小・中学校文化交流会や、府立山城総合運動公園（太陽が丘）での小学校陸上交歓会の開催など、児童の健全育成に向けた文化・スポーツの交流活動を実施するとともに、学校の伝統や校風、地域の実態に根ざした創意ある教育活動を通じ、魅力ある学校づくり、特色ある学校づくりをより推進するための取り組みを支援します。

今日の子どもを取り巻く情報化社会に適応するため、学校教育における情報教育は必要不可欠なものであることから、児童・生徒の情報教育を推進し、また、情報教育アドバイザーを任用するなど情報教育の質的向上にも努めます。

さらに、学校教育における外国語指導やコミュニケーション活動の強化を図るため、引き続き国のJ E T プログラムによる外国語指導助手を1名任用します。また、(拡) 小学校高学年を対象に外国語活動の充実に取り組みます。

★ 学校施設整備の推進

(5億9,405万1千円)

教育環境の改善と充実を図るため、各学校での施設整備を行い、教育施設の基盤整備を進めます。

(新) 生徒数の増加に伴い普通教室の不足が見込まれる精華西中学校の校舎増築工事を実施します。

また、(新) 学校施設の耐震化を進めるため、精華中学校の校舎耐震化を検討するための耐震化計画を策定します。

今後も引き続き開発地区での児童・生徒数増加に伴う教室数の不足、既存地区での教育施設の老朽化や耐震化対応など、異なる要因により各学校施設の増改築等に迫られていることから、学校建設基金の運用など、計画的な財政運営を行うことで、これらの将来的な財政需要に対応します。

★ 私立幼稚園との連携

(6,557万9千円)

私立幼稚園児に対する保護者への就園奨励費の給付や、一般助成などを継続して実施します。

特に、町内には公立幼稚園が無いことから、園児保護者への助成（町外幼稚園への通園児を含む。一人当たり月3,000円）を行うことで、負担の軽減に努めます。

さらに、町内私立幼稚園に対しては、各園運営の安定化を促進するため、運営費の一部助成を行います。



幼稚園児訪問



④ 健康長寿のまちづくり

★ 健康づくりの推進

(9,771万2千円)

健康増進計画の実践として、健康づくり推進協議会など地域住民との協働による健康増進に取り組むほか、各種の健診や保健指導、予防接種の実施、各種がん検診、人間ドックなどの実施により、健康で快適な暮らしづくりを進めます。

★ 地域医療活動の実施

① 精華病院の運営 (一般会計 3,573万4千円)
国民健康保険病院事業特別会計 1億7,090万2千円)

医療法人医仁会を指定管理者とし、民間活力を導入した精華病院の管理・運営を推進します。また、住民の心身の健康を守る身近な拠点として展開するため、(新)老朽化する施設の一部を改修します。

② 訪問看護サービス事業の提供 (2,832万2千円)

地域の暮らしに密着した町立の訪問看護ステーションとして、病院や在宅介護地域包括支援センターなどと連携を図り、利用者にとって安心で良質なサービスの提供を目的に、医療・介護保険の各種サービス事業を展開します。

★ 障害者福祉の充実

(4億164万2千円)

障害者の自立支援と社会参加を支援するため、障害者自立支援法に基づく各種施策及び町福祉サービスを推進します。

★ 高齢者福祉の充実

(5億8,606万4千円)

地域福祉の拠点としての役割を担う地域福祉センターかしのき苑や、社会福祉協議会及び特別養護老人ホーム神の園などの事業者との連携により、高齢者福祉サービスの充実を図り、高齢者が住みよい快適な環境づくりを進めます。(拡)火災警報器の既存住宅への設置義務化期限が平成23年6月1日であるため、介護を要する状態にある高齢者からの給付申請(世帯階層区分により利用者負担あり。)を受け付けます。(平成22年1月1日現在高齢化率16.3%)

高齢者の雇用創出と生きがいづくりを目的に、シルバー人材センターの運営助成を継続するほか、敬老会を開催し、まちづくりの先導者であり地域社会で活躍する高齢者へ敬意を表し、長寿をお祝いします。

また、後期高齢者医療に必要な経費として、広域連合に対して医療費の負担を行います。

今年の予算Q&A

平成22年度に予定
される主要な事業

町民一人あたりで
みる今年の予算

財政の用語解説

財政健全化計画
精華町の



敬老会

★ 生涯学習・生涯スポーツの推進 (1,725万1千円)

住民の学習意欲の高まりに応え、生涯学習を通じて、より豊かで充実した生活を送っていただけるよう、情報化社会に対応した講座や高齢者・障害者向けの講座をはじめ、各種の講座や教室を開催することによって文化に触れ、学ぶ、体験する機会を提供するとともに、自主的な活動の育成を支援するなど、生涯学習の充実を図ります。

平成23年度に開催が予定されている国民文化祭における本町での「少年少女合唱フェスティバル」の成功に向け、平成19年度に結成した精華町少年少女合唱団の活動を充実させます。

また、本町の文化の向上と発展に貢献のあった個人や団体に対して表彰を行い、文化・芸術の創造への意欲を喚起し、文化の振興と発展を図ります。

住民の健康増進にも役立つ各種スポーツ教室の開催により、スポーツ・レクリエーション活動を推進します。

生涯スポーツの振興やニュースポーツの普及を図り、住民の健康意識を高め、住民間交流を深めるため、気軽に参加できる教室として、少年少女を対象としたジュニアスポーツ体験教室や、中高年齢者向けにこにこスポーツ教室、健康体操教室など、さまざまなスポーツを体験する機会を提供します。

また、スポーツ団体との連携を図り、必要な育成や支援を実施します。



町民体育大会



精華町少年少女合唱団

★ 図書館活動の充実

(7,655万8千円)

住民の生涯学習を支える拠点として、心のふれあいの広場となる図書館をめざし、町立図書館を住民の方々に積極的に利用していただけるよう、図書、視聴覚資料の充実を図るとともに、さらに利用しやすい環境整備とサービス向上に努めます。

また、文学講座などの読書推進事業や移動図書館車の運行など各種行事を通じて、住民のふれあいづくりを進めます。

さらに、障害者や高齢者など来館が困難な方々を対象とした図書の宅配サービスを継続して実施します。



NANTO **南都銀行**

精華支店 ☎ 94-2580
山田川支店 ☎ 72-8661
けいはんなプラザ支店 ☎ 95-5131

おかげさまで70周年
70th
一緒にがうれしい
On Your Side

みなさまのすぐとなりに京都中央信用金庫がいます。

京都中央信用金庫

精華支店

JR祝園駅西300m
☎ 0774(93)1321
FAX 0774(93)1124

⑤ 経済活性化のまちづくり

★ 新産業創出の支援 (5,813万2千円)

自立的な地域経済の発展を図る観点から、学研都市を活用した産業振興を積極的に推進するため、学研都市としてのPRや企業誘致活動を展開します。

また、地域経済の活性化と雇用機会の創出を図るため、企業立地促進条例に基づく支援制度による立地企業への助成を継続し、企業の立地を積極的に推進します。

京都府や関西経済連合会、さらには地元3市町などの資金負担により、けいはんなプラザ・ラボ棟内に設置されている「新産業創出交流センター」への参画を継続し、また、それらを活用した積極的な企業誘致活動の展開を行うことで、産業化支援やベンチャー企業誘致などを一体的に行い、町の活性化に引き続き取り組みます。



中小ベンチャー企業が立ち並ぶ光台・精華台地区

★ 既存産業の振興 (2,021万3千円)

商工業を中心とした経済の活性化を図るため、その中心的活動組織である商工会への運営助成や、京都府の融資制度との連携のもとに保証料補給及び利子補給などを継続し、活気とやすらぎのあるまちづくりを進めます。

★ 雇用機会の創出、人材活用の実施 (1億1,115万9千円)

経済不況により景気が落ち込み、失業者が増加している社会情勢に対応するため、(新)国の行う緊急雇用対策に連携して雇用機会の創出に努め、住民生活の支援と安定を図ります。

また、専門的な資格や技能を有した臨時職員等の雇用により、時間外勤務にかかる人件費を抑制して、効率的な行政運営と人材活用を推進します。



平田内科医院

◆消化器科 ◆循環器科 ◆一般内科
平田真人・平田理佳

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 5:00~7:00	○	○	/	○	○	/

光台近隣センター南 Phone:0774 95-3400

J A京都やましろ 精華町支店

便利で安心！JAバンク

精華町祝園駅西1丁目31-5

TEL 0774-94-2103

FAX 0774-94-5739

⑥ 学研都市広域連携のまちづくり

★ 広域連携の推進

(750万円)

地元関係市町で連絡会を構成し、学研都市建設推進に関する要望活動やPR活動を展開し、広域的課題の解消を図ります。

また、けいはんな学研都市活性化促進協議会へ参画し、学研都市における広域的な文化、学術研究等の活動を促進し、地域の活性化に取り組むことで、地域全体の価値を高め、自立的な自治体経営を展望し、学研都市における広域的な文化・学術研究等の活動を促進します。

★ 情報公開、情報提供の推進

(1,867万5千円)

情報公開を積極的に進めるため、広報誌「華創」と合わせ、町ホームページをよりわかりやすく利用しやすいものとしながら、的確な情報提供に努め、住民向け行政サービスを一覧にまとめた「住民手帳」と、本町の概要が盛り込まれている「町勢要覧」の更新増刷を進めます。

また、行財政運営のP D C A（計画・実行・評価・見直し）サイクルの確立を目指し、行政評価システムの導入に取り組みます。

自治体で取り組む「新地方公会計改革」に遅滞なく対応し、財務諸表の作成など、本町の財政運営に効果的で、より正確でわかりやすい財務情報を住民に提供するため、公認会計士など専門家の支援を受けながら新地方公会計制度への対応に努めるほか、町財政の状況や財政運営の方針をわかりやすく住民にお知らせするため、「予算・決算のあらまし」を発行します。

★ 総合窓口等の向上

(217万5千円)

庁舎の基本理念の一つである「住民サービスと事務効率の向上」の一環として、ワンストップサービスのための総合窓口を運用します。

更に、待ち時間の短縮や週休日でも対応できる証明書等自動交付機による証明書発行を、庁舎の2台で運用します。また、町南部地域「桜が丘地区」の住民サービスコーナーで証明書等自動交付機による証明書発行を行うほか、町北部地域での下柏郵便局との提携による証明書発行などにより、住民の利便性向上に努めます。



役場庁舎の総合窓口

★ 町内交通対策の推進

(2,813万円)

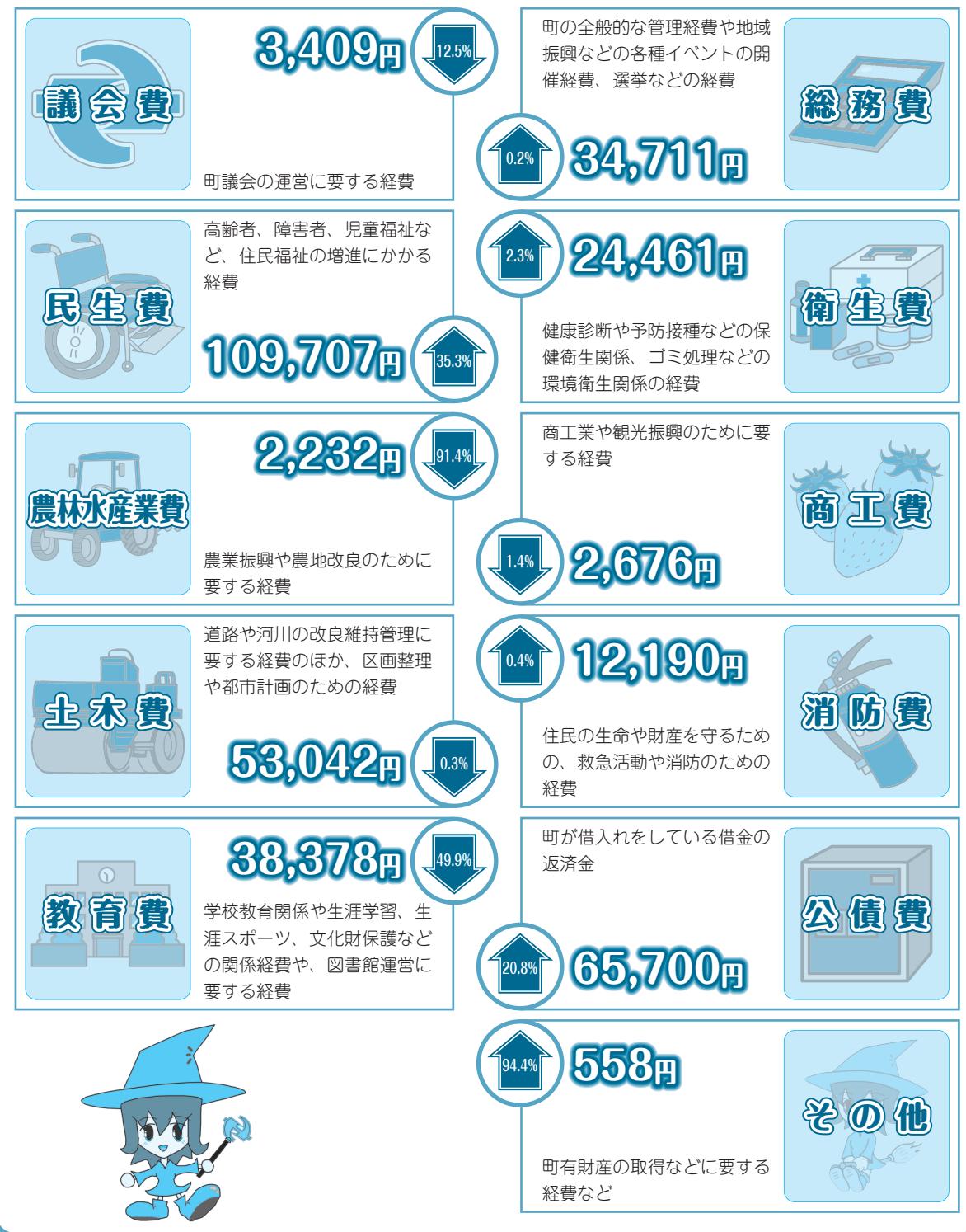
住民が利用する公共施設・公共交通機関へのアクセス確保と、町内の移動の円滑化を図るため、コミュニティバスの実証運行を継続します。

町民一人あたりでみる今年の予算

精華町の今年の予算を、色々な角度から町民一人あたりの予算にしてみました。

(平成22年4月1日現在の総人口で計算)

町民一人あたりでみる 目的別の支出状況



今年の予算Q&A

平成22年度に予定される主要な事業

町民一人あたりでみる今年の予算で

財政の用語解説

精華町の財政健全化計画

町民一人あたりでみる 町税負担の状況

町民税

6.2%



プラス

マイナス

増減率(%)

$$\left(\frac{\text{平成22年度予算}}{\text{平成21年度予算}} \times 100 \right) - 100$$

平成22年度 **64,283円**

平成21年度 68,507円

平成22年度 **10,111円**

平成21年度 10,065円

固定資産税

0.8%

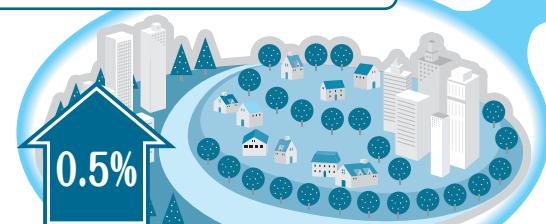


平成22年度 **61,550円**

平成21年度 61,058円

都市計画税

0.5%



0.3%



軽自動車税

平成22年度 **1,177円**

平成21年度 1,174円

平成22年度 **3,023円**

平成21年度 3,060円

町たばこ税

1.2%

FUJI Xerox

富士ゼロックスシステムサービスは
IT化する自治体様を強力サポート。
さらなる住民サービス向上を目指します。

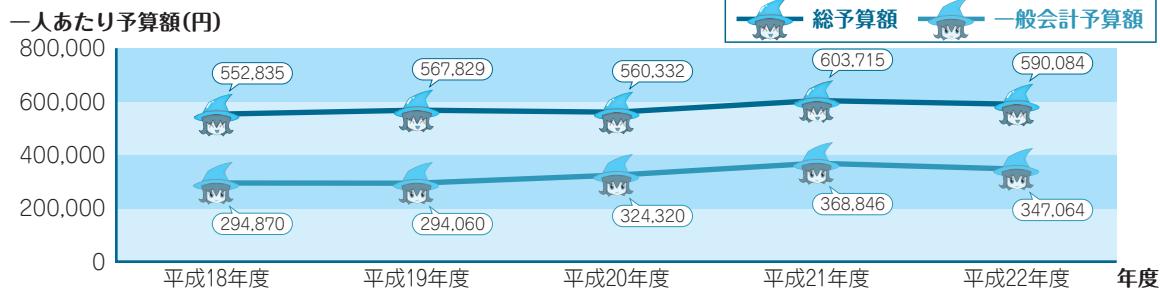
富士ゼロックスシステムサービス株式会社
公共システム事業部 営業統括部 関西支店
TEL 06-6225-0390 9:00-17:30

なが——い、おつきあい。

飾らない銀行 精華町支店
京都銀行 TEL.0774(93)2300

町民一人あたりでみる 町の予算規模

平成22年度の予算を町民一人あたりにすると、一般会計で347,064円、特別会計を含めた総予算では590,084円となります。今年度の一般会計予算額については、平成21年度における繰上償還や大規模普通建設事業の完了等により、前年度と比較すると減額となっています。経年比較をすると一般会計では増額傾向にありますが、特別会計を含めた場合は変動幅は小さくなっています。



町民一人あたりでみる 町の公共事業

平成22年度の一般会計予算のうち、公共事業に関する経費（普通建設事業費）は19億9,011万円で、町民一人あたりにすると54,687円となります。川西小学校校舎改築等事業の完了や里山保全モデル事業用地関連事業の完了などにより前年度と比較すると、大幅に減少しています。



町民一人あたりでみる 町の社会保障給付費

平成22年度の一般会計で行う社会保障給付の経費（扶助費）は15億2,721万円で、町民一人あたりにすると41,967円となります。子ども手当の創設（子ども手当給付事業）による増加が大きな要因ですが、乳幼児や高齢者の医療費助成や障害者の生活支援などに必要な経費も年々増加傾向にあります。



今年の予算Q&A

平成22年度に予定される主要な事業

町民一人あたりでみる今年の予算

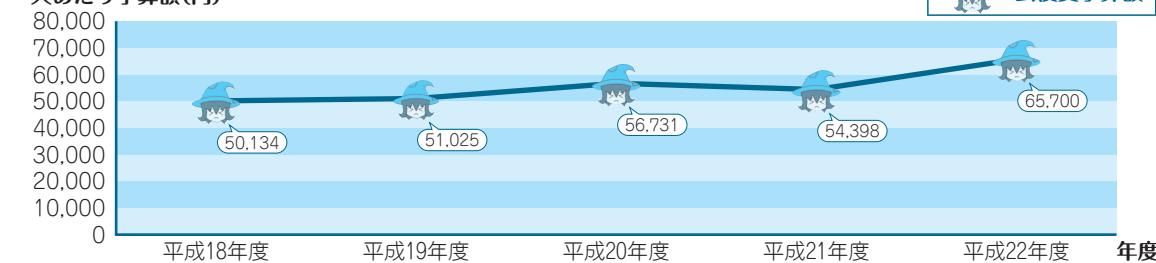
財政の用語解説

精華町の財政健全化計画

町民一人あたりでみる 町の借金の返済

平成22年度の予算額のうち、これまでの借金（地方債）を返済するための経費（公債費）は23億9,088万円で、町民一人あたりにすると65,700円となります。これまで長期債務の圧縮や新たな借り入れの抑制に取り組んできたこともあり、平成21年度以降は徐々にではあるものの減少傾向が見込まれています。ただし、平成22年度については縁故資金による地方債の借換えの影響により増額となっています。

一人あたり予算額(円)



町民一人あたりでみる 町の借金(地方債)

平成22年度の予算額のうち、今年度に借りる地方債の金額は、19億8,660万円で町民一人あたりにすると、54,590円となります。過度の負担を将来世代に先送ることのないよう、引き続き「持続可能な財政運営」を実行するために、新規の地方債発行額を年度内に償還する元金額の範囲内に留めるなどの公債費対策を実施しています。今年度については、子育て支援施設等整備事業や臨時財政対策債、縁故資金による地方債の借換えなどが増加要因と考えられます。

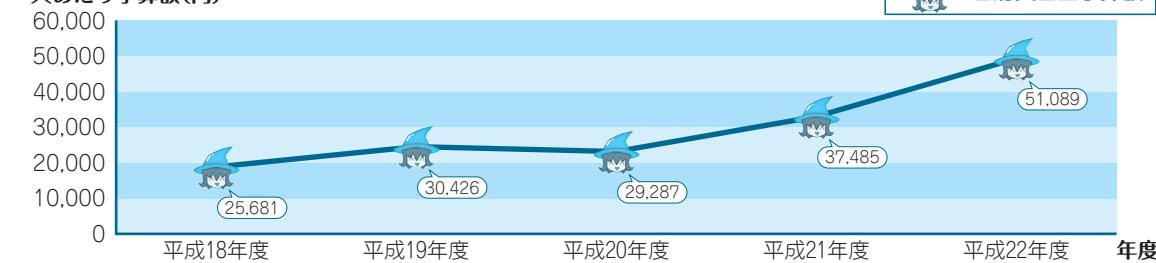
一人あたり予算額(円)



町民一人あたりでみる 町の国・府からの支出金(歳入)

平成22年度の予算額のうち、国や府から支出される金額は、18億5,917万円で町民一人あたりにすると51,089円となります。今年度については、子ども手当にかかる国の負担金や、緊急雇用対策にかかる府補助金、児童手当負担金、選挙経費にかかる委託金などが増加要因となっています。

一人あたり予算額(円)



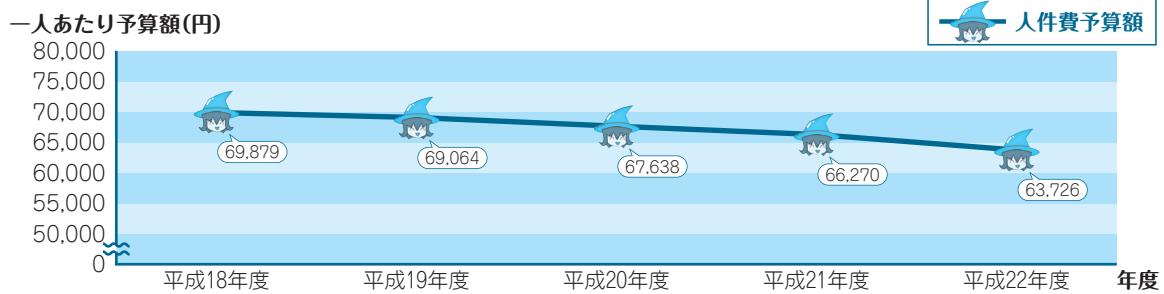
町民一人あたりでみる 町の地方交付税額

平成22年度の予算額のうち、地方交付税額は、16億2,771万円で町民一人あたりにすると44,728円となります。平成19年度以降は増額傾向にあり、今年度については、国の平成22年度地方交付税予算総額が増額されることを見込んだ予算となっています。



町民一人あたりでみる 町の人口件費

平成22年度の一般会計予算額のうち、人件費は23億1,905万円で町民一人あたりにすると、63,726円となります。平成17年度から平成21年度までの5ヵ年における「改革プログラム」等の取り組みにより、年々減少傾向となっています。



医療法人 社団 医聖会
学研都市病院
TEL.0774-98-2123

整形外科・一般内科・消化器科・循環器科・外科・小児科
脳神経外科・泌尿器科・神経内科・眼科・耳鼻咽喉科
リハビリテーション科・リウマチ科・皮膚科・放射線科
脊椎・脊髓センター・健診センター・人工透析センター

診療時間 AM9:00～12:00 ※救急告示病院
休診日 日・祝日／年末年始(12/31～1/3)

武田病院グループ 救急告示
精華町国民健康保険病院
内・外・皮・整・歯・透析センター
TEL 0774-94-2076
(近鉄新祝園駅前)

今年の予算Q&A

平成22年度に予定される主要な事業

町民一人あたりでみる今年の予算

財政の用語解説

精華町の
財政健全化計画

精華町の財政健全化計画

精華町では、昭和62年の関西文化学術研究都市建設促進法施行以降、学研都市精華町として調和の取れたまちづくりをめざし、国や府の支援をはじめ開発事業者からのさまざまな協力を得ながら学研都市建設を進めてきましたが、平城・相楽地区及び精華・西木津地区での大規模開発がほぼ概成した平成16年頃を境に、それまでの大規模建設への対応における先行投資負担で増大した実質債務残高問題の一方で、税収の伸び悩みや、「三位一体の改革」により、恒常的な財源不足額が単年度で10億円規模に達するという危機的な財政状況が生じていました。

こうした時代背景のもと、本町は、平成17年度を初年度とし平成21年度を最終年度とする5か年の、行財政改革推進のための「改革プログラム」や財政健全化計画を策定し取り組みを進めてきました。

1 財政健全化の取り組み

財政健全化計画の策定当時、単年度あたり10億円規模での財政構造改善を図るうえで、深刻かつ喫緊の課題となっていたのは、平成16年度末現在で318億円にまで達していた実質債務残高問題への対処がありました。

本町では、学研都市建設にかかる関連公共公益施設整備の結果、地方債残高以外に、学校建設などにかかる公団立替施行における債務や、土地開発公社に対する債務などの債務負担行為残高が、実質債務残高のうち約4割を占めるという状況にあり、地方債の繰上償還と同時に、こうした地方債以外の債務の繰上償還などによる実質債務残高の圧縮が、財政健全化を進める上の最大の前提条件となっていました。

一方、歳入確保としては、企業誘致や町税徴収率の向上を柱に税収増加を基本として取り組むこととしました。

また、歳出削減としては、一時的には歳出総額の増加につながるもの、実質債務残高問題への対応としての公債費対策をはじめとして、人件費の総額抑制、精華病院への指定管理者制度導入といった主要項目のほか、全庁的な取り組みとして、各部署における事務事業の見直しについて継続的な取り組みを進めることとしました。

2 実質債務残高の圧縮と基金の活用

実質債務残高圧縮のため、まず、地方債については国の特例措置を活用しながら繰上償還を実施しました。

また、債務負担行為残高のうち、公団立替施行の債務についても、地方債と同様に補償金免除を含めた繰上償還を求めて、都市再生機構と粘り強く交渉した結果、平成20年度からの特例繰上償還を実現しました。

さらに、土地開発公社の債務については、国の公社経営健全化対策の制度を活用し、土地活用の推進とあわせて、より有利な地方債への振替措置に取り組むなど、その解消に努めました。

こうした取り組みの結果、地方債と債務負担行為を合算した実質債務残高は約87億9千万円の圧縮見込みとなっています。（22ページの表1「実質債務残高及び基金残高の状況」参照）

一方、基金については、狛田駅周辺整備や川西小学校などの義務教育施設整備に必要な資金確保のために、行財政改革の成果の一部や各年度の決算見込み時での不用額積み立てを行い、重点化政策実現のための財源として活用しました。

また、前述の実質債務残高圧縮のための公債費対策の財源として減債基金を大きく取り崩したことや、財政調整基金の取り崩しを継続したことにより、基金残高については約33億4千万円の減少見込みとなっています。（同じく22ページの表1参照）

3 歳入確保と歳出削減の取り組み

歳入確保と歳出削減については、平成16年度決算額（普通会計ベース）を基準とし、毎年度、各部署において目標額を設定し、予算編成に反映させることで、着実な収支改善をめざした進捗管理に努めました。

歳入確保では、税等の確保として新規企業の立地誘致による税収増や、徴収率の向上に努めるなどして約1億5千万円の增收に努めたほか、使用料やその他の項目においても、受益者負担の適正化や町刊行物への企業広告料などの収入の確保に努め、約4千万円の增收を確保でき、歳入合計で、約1億9千万円の効果額となる見込みです。

一方、行財政改革効果額の大半を占める歳出では、まず、人件費の総額抑制として、給与構造改革や退職者補充の抑制、時間外勤務の削減などに努めた結果、約1億8千万円の削減となる見込みです。

その他、一般行政経費では、扶助費については水準維持に努める一方で、病院会計への運営費の繰出金廃止などの徹底的な行政内部の経費削減に加え、各種団体補助金の削減をお願いするなどにより、約5億円の削減となり、歳出合計では約6億8千万円の効果額となる見込みです。

4 今後の行財政運営

このように、財政健全化目標である経常収支改善を中心とした10億円規模での収支構造の改善については、債務の解消や民間委託の推進、人件費の総額抑制などによる歳出削減を中心に、概ね達成されつつあり、本町行財政の体質改善は大幅に進んだものと考えられます。

しかしながら、その一方で、平成20年秋のリーマンショック以降の世界的な金融危機による経済不況の影響など、計画策定時には想定していなかった外部要因により、税収の落ち込みを中心として約4億円の収支悪化が生じ、最終的には、なお5億円規模の赤字運営が迫られる状況にあります。

平成22年度の一般会計予算においても、この影響は顕著に現れており、結果として、純粋な赤字補填となる財政調整基金や減債基金などの取り崩し額は約4億7千万円となり、これら二つの基金残高の推移見込みから、3年後には資金繰りに窮する恐れが懸念されます。

今後の景気回復によっては、税収の好転の兆しが期待できますが、歳出面でのこれ以上の抑制は、行政内部努力だけでは難しいところで来つつあり、住民サービスを低下させないためにも、行財政運営規律の維持向上や事業の選択と集中の一層の強化が必要です。

表1 実質債務残高及び基金残高の状況 [単位：百万円]

	平成16年度末	平成21年度末 (見込み)	増減額
実質債務残高	31,814	23,021	▲8,793
地方債残高	19,308	16,611	▲2,697
債務負担行為残高	12,506	6,410	▲6,096
基金残高	5,829	2,491	▲3,338

本誌への広告掲載の
お問い合わせ先



精華町役場

総務部 財政課 財政管理係
TEL: 0774-95-1914

企画から印刷まで どのような印刷物でもご相談下さい

株式会社
昭文社

0742-34-2161

本社 〒630-8031奈良市柏木町176-1
FAX: 0742-34-2196

平成22年度『予算のあらまし(まちの羅針盤)』の発行にあたって

新年度を迎える、各事業のスタートにあわせて、今年も『予算のあらまし』(平成22年度予算版)を作成いたしました。

この『予算のあらまし』の作成は、毎年10月に発行している『決算のあらまし』とあわせて、住民のみなさまに本町の財政事情を公表する取り組みの一環として、平成16年度予算より継続して取り組んでいるものです。町議会での議決により決定しました平成22年度の町予算の内容を中心に、今年度に取り組む主な事業をはじめ、これからの本町のまちづくりに大きな影響を与える財政状況や、予算の概要を、イラストやグラフなども活用して、できるだけ分かりやすくお伝えしたいと工夫しながら、本誌の作成に取り組んでいます。

さて、一昨年秋の世界的な金融危機以降急速に落ち込んだわが国の景気は、ここにきてようやく持ち直してきているという見方もありますが、この先の見通しは依然混迷を極めています。国の経済危機対策などの効果を期待する一方で、デフレの影響や雇用情勢の厳しさなど、このような社会情勢は本町の財政運営にも深刻な影響を与えております。

そのような状況にあっても、地方自治の本旨を踏まえ、本町が今後も自立して持続可能な財政運営を確保していくためにも、効率的かつ効果的な行財政運営に向けた取り組みの強化が必要です。さらなる少子高齢社会の進展に向けて、子育て・医療・介護や福祉、地球環境問題などの多様化するさまざまな行政課題に対応し行政サービスを向上させて、着実に住民満足度を高めていかなければなりません。

昨年の国の政権交代により、地方自治体で実施する事業の財源見直しなど、地方自治をめぐる不透明な状況のもと、厳しい財政状況にあっても、現状の各種行政サービス水準の維持に精一杯努めたいとの思いから、福祉や医療といった住民サービスに直結する扶助費の確保を図りつつ、小学校卒業までの通院医療費の無料化や、ほうその保育所とほうその第2保育所の統合保育所の整備、狛田駅東地区特定土地区画整理事業の推進、精華西中学校の校舎増築など、公約実現と緊急雇用対策や重点化施策などの懸案課題の具体化に向けて、行財政改革の取り組みや施策の選択と集中に努め、平成22年度予算の編成を行うことができました。

今後も、より質の高い行政サービスの実現をめざし、本町を目指します「人、自然、科学を結ぶ学研都市精華町」の実現に向けてまい進し、「ふるさとは“ここ(精華町)”と誇れるまち」を築きあげられるよう、いかなる困難にも立ち向かい、全力で取り組んでまいりますので、引き続きみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

平成22年4月

精華町長

木村 要

まちの羅針盤

精華町の財政状況公表資料(予算編)



- 発 行 … 平成22年4月 精華町役場 総務部 財政課
- 住 所 … 〒619-0285 (個別番号)
京都府相楽郡精華町大字南稻八妻小字北尻70番地
- T E L … 0774-95-1914 (財政課ダイヤルイン)
- F A X … 0774-93-2233
- ホームページアドレス … <http://www.town.seika.kyoto.jp>
- E - m a i l … zaisei@town.seika.kyoto.jp
- 印 刷 … 株式会社 昭文社

